

袋井駅南地区 大規模雨水処理施設整備事業計画（袋井市）

（様式 1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	袋井駅南地区は、住宅や商業施設が密接に存在する地域である一方、二級河川原野谷川と小笠沢川の合流地点に隣接しており、地盤が低く自然排水が困難な地域である。 浸水被害の実績については、過去に複数回浸水実績を有し、令和 4 年 9 月の台風 15 号では床上浸水 54 戸、床下浸水 90 戸と甚大な内水浸水被害が発生した。 個人の生命・財産の保護、都市機能保持の観点からも、早急な浸水対策が求められている地域である。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ 本計画における対象降雨：60.8mm/ hr （ 7 年確率降雨） ・ 目標とする理由：袋井市公共下水道事業計画で定める 60.8mm/ hr とした。 ・ ハード整備による整備水準の目標:60.8 mm/hr ②目標設定 - i) 生命の保護の観点 ：家屋の床上浸水を解消する。 - ii) 都市機能の確保の観点：機能保全水深を 20 cm とする。 iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を解消する。 iv) その他 ：特になし ③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について - i) ハード対策 施設整備により 60.8mm/hr の降雨において、床上浸水被害の解消を目的とする。 - ii) ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨については、河川水位の WEB 公開、内水ハザードマップ、洪水ハザードマップなどの公表・配布、袋井市防災メールなどの情報発信、同報無線による告知、水防団や自主防災隊（住民の自治組織）による土のうの設置や避難訓練など、それぞれの主体が情報発信・自己防衛対策を実施することにより、被害の軽減を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 ・ 策定予定（令和8年3月末策定予定）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 柳原雨水ポンプ場の整備 排水能力 3.23m ³ /秒×2台 6.47m ³ /秒×2台
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップの策定・公表
			下水道管理者以外	・ 洪水ハザードマップを活用し、避難場所や経路に関する情報を周知（袋井市危機管理課） ・ 降雨、河川水位情報の収集と提供
	自助	ハード対策		・ 雨水流出抑制施設設置（雨水貯留タンク） ・ 土のうステーションの設置
		ソフト対策		・ 定期的な防災訓練の実施（各自治会） ・ 地域住民の連絡体制強化（高南治水特別委員会）

年度計画（百万円）

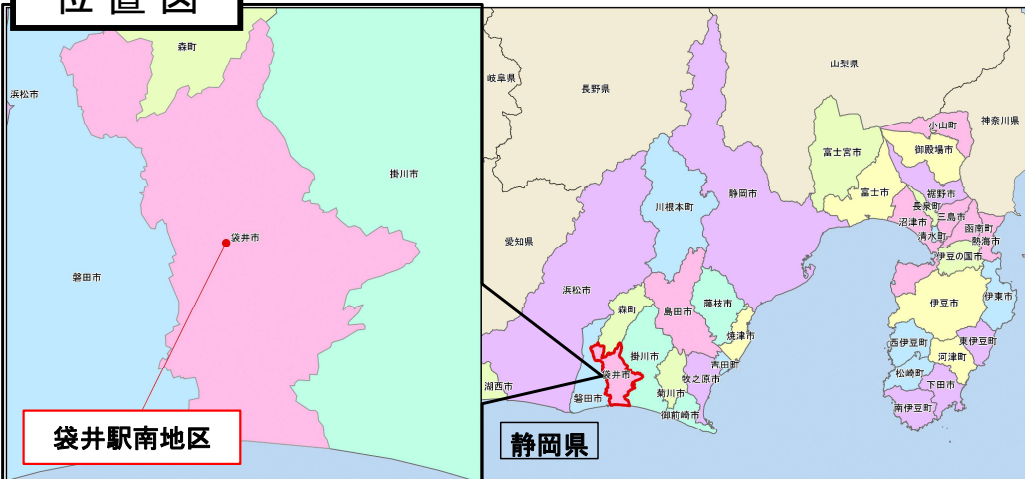
名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
ポンプ施設	208	377	1,166	2,080	2,187	2,402	8,420
計	208	377	1,166	2,080	2,187	2,402	8,420

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<事業評価の内容> 年平均被害軽減期待額：5,675 百万円が削減される。 B/C：8.2 経済的内部収益率：36.2% <その他の定量的な効果> 都市浸水対策達成率：1.5%→10.2% <ソフト対策、自助の整備効果等> 内水ハザードマップや袋井市防災メールなどによる防災情報の提供と支援、自発的かつ定期的な自主防災訓練を実施するなどの取り組みにより、防災意識の向上と自助の精神を培い、人命の保護及び市民財産の被害の最小化を達成する。
放流先河川との調整状況	現在、放流先河川は概ね治水安全度10年確率で整備済みである。一方、下水道計画は7年確率であり、放流先河川の流下能力を満たすことから、河川管理者との調整は済んでいる。

袋井駅南地区 大規模雨水処理施設整備事業（袋井市）

- 袋井駅南地区は地盤が低く自然排水が困難な地域であるため、過去に複数回浸水被害の実績があり、特に令和4年9月の台風15号では甚大な内水浸水被害が発生した。
- 袋井駅南地区大規模雨水処理施設整備事業により、雨水ポンプ場の整備を行い、60.8mm/hの降雨に対して床上浸水被害の解消を図る。

位置図



事業概要

- 事業内容 : 雨水排水ポンプ場整備 1箇所
- 全体事業費 : 約84億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間 : 令和7年度～令和12年度

事業の効果

概ね7年に1回程度起こりうる降雨(60.8mm/h)に対して、床上浸水被害の解消を図る。

＜7年確率での被害軽減効果＞

床上浸水面積(浸水深0.45m以上)

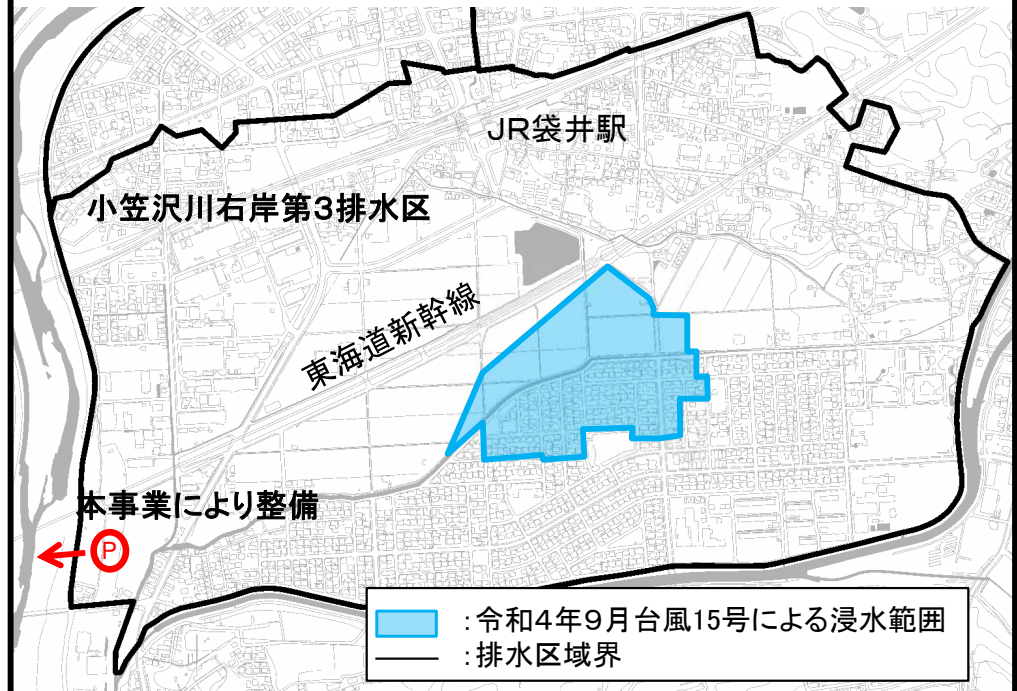
25.92ha→0.38ha (△25.54ha)

床下浸水面積(浸水深0.45m未満かつ0.3m以上)

3.17ha→1.43ha (△1.74ha)

費用効果分析の結果

B/C=8.27



- 地元状況: 地元自治会が、ポンプ場の整備等、緊急的かつ効率的な治水対策を要望。